

臨床看護学

母性看護学研究室

教授 塚田 トキエ
助教授 堀井 満恵
助手 長谷川 ともみ

◆ 原 著

- 1) 塚田トキエ, 長谷川ともみ, 堀井満恵: 母性看護学教育における少人数教育の活かし方-褥婦ケアを中心に-. Quality Nursing, 3: 592-598, 1997.
- 2) 濱畑彰子, 沢田愛子, 堀井満恵, 石山浩美: 健康な在宅老人の生活と生きがい. Quality Nursing, 3: 41-46, 1997.
- 3) KAGEYAMA, S., MATSUI, S., HASEGAWA, T., YOSHIDA, Y., SATO, H., YAMAMURA, J., KUROKAWA, M., YAMAMOTO, H. and K. SHIRAKI: Augmentation of natural killer cell activity induced by cytomegalovirus infection in mice treated with FK 506. Acta. virologica, 41: 215-220, 1997.

◆ 学会発表

- 1) 堀井満恵, 中田香織: 女子大生における月経随伴症状の実態. 第53回日本助産婦学会, 1997, 5, 東京.
- 2) 長谷川ともみ: 米国におけるInfection Control Nurseの役割. 第1回富山県院内感染対策研究会, 1997, 7, 富山.
- 3) 下条由季子, 長谷川ともみ, 湯川倫代: 看護学生の母子看護領域における感染防御に関する意識と倫理的配慮-同意書と質問紙の関連項目からの意考-. 第7回小児研究学会, 1997, 7, 神奈川.
- 4) 長谷川ともみ, 堀井満恵, 塚田トキエ: 冷パットを用いた会陰部の冷罨法による皮膚温・血流および皮膚感覚の変化. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.
- 5) 長谷川ともみ, 堀井満恵, 塚田トキエ, 佐藤ゑい子: 冷パットを用いた分娩直後の会陰部の冷罨法による創傷治癒および疼痛緩和効果. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.
- 6) 石田真由美, 堀井満恵: 妊娠経過に伴う乳房の発育と泌乳との関係. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.

地域・老人看護学

教授 (地域看護学) 村山 正子
教授 (地域看護学) 成瀬 優知
助教授 (地域看護学) 梶田 悦子
助教授 (老人看護学) 泉野 潔
助教授 (老人看護学) 服部 ユカリ
助手 (地域看護学) 大野 昌美
助手 (老人看護学) 前 畑 夏子

◆ 著 書

- 1) 杉本正子, 真船拓子, 村山正子, 大野絢子, 木下安子, 斉藤泰子, 中田まゆみ他: 在宅看護論-実践をことばに. 広川書店, 8-14, 東京, 1997

◆ 原 著

- 1) 大野絢子, 錦織正子, 佐々木美佐子, 宮地文子, 丸山美知子, 村山正子: 保健所市町村保健婦の母子保健業務に対する職場内教育の実態調査-卒後1~3年の新任保健婦を中心に-. 平成8年度厚生省心身障害研究報告書333-342, 1997
- 2) 村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 大野絢子, 宮地文子, 斉藤泰子: 保健婦の保健計画・施策化能力の育成に関する研究. 平成8年度地域保健における保健婦業の活動に関する研究班報告書267-277, 1997.
- 3) 山崎紀美, 北川定謙, 成瀬優知, 鏡森定信: 入院・入所要介護老人のニーズと適合施設に関する研究. 日本公衛誌, 44(4):257-264, 1997.
- 4) Naruse Y., Nakagawa H., Yamagami T., Sokejima S., Morikawa Y., Nishijo M., Tabata M., Semma M., Miura K. and Kagamimori S.: Ischaemic heart disease deaths in a Japanese rural area evaluated by clinical records. Journal of Epidemiology. 7(2):71-76, 1997.
- 5) 松田美千代, 中谷芳美, 成瀬優知: 脳卒中患者退院時の情報伝達状況とケアの継続性に関する研究. 北陸公衛誌, 23(2):65-69, 1997.
- 6) Matsubara I., Kagamimori S., Naruse Y., Nakatani Y., Matsukura H., Nakagawa H. and Iibuchi Y.: A Study on occupational differences in cerebrovascular disease mortality between Japan and Great Britain. Agricultural Medicine & Rural Health. 21(1): 32-42, 1997.
- 7) Matsui H., Maeda A., Tsuji H. and Naruse Y.: Risk indicators of low back pain among

workers in Japan. Association of familial and physical factors with low back pain.: SPINE. 22(11):1242-1248,1997.

- 8) Hirashima Y., Nakamura S., Endo S., Kuwayama N., Naruse Y and Takaku A.: Elevation of platelet activating factor, inflammatory cytokines, and coagulation factors in the internal jugular vein of patients with subarachnoid hemorrhage, *Neurochemical Research*. 22(10):1249-1255,1997.
- 10) 梶田悦子, 桑守豊美, 高田英子, 松原勇, 服部ユカリ: 20歳代女性の摂取食品数に影響を及ぼす要因に関する研究. *母性衛生*, 38: 403-411, 1997
- 11) Entani C., Izumino K., Takata M., Futamura A., Nakagawa Y., Inoue H. and Iida H.: Expression of platelet-derived growth factor in lupus nephritis in MRL/MpJ-lpr/lpr mice. *Nephron* 77: 100-104, 1997
- 12) 服部ユカリ, 成瀬優知, 市来愛子, 福田孜, 鏡森定信: 訪問看護対象者のニーズ推移—身体・精神・介護状況に関して—. *北陸公衆衛生学会誌* 23(2):88-94, 1997

◆ 症例報告

- 1) 田口芳治, 上野均, 新谷憲二, 富田新, 二村明広, 安本耕太郎, 泉野潔, 高田正信, 井上博: ヘパリンによる血小板減少をきたした血液透析患者の1例. *腎と透析*, 42: 931-934, 1997
- 2) 北林正子, 米道智子, 泉野潔, 高田正信: 除水量低下に対し腹膜休息を試み除水量が改善したCAPDの3例. *臨床透析*, 13: 105-109, 1997
- 3) 服部ユカリ 在宅介護支援センターの看護職の役割に関する一考察—在宅ターミナル期支援の事例から—. *Quality Nursing* 3(9):52-59, 1977

◆ 総説

- 1) 成瀬優知: 富山県脳卒中情報システム事業の現状と課題. *北陸公衛誌*, 23(2):58-64, 1997.

◆ 学会報告

- 1) 村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 大野絢子, 宮地文子, 斉藤泰子: 保健婦の保健計画への参画状況. 第56回日本公衆衛生学会, 1997. 10, 神奈川
- 2) 新村哲夫, 西野治身, 中川秀昭, 成瀬優知, 鏡森定信: 健康成人の血清アルミニウム濃度と尿中排泄量. 第70回日本産業衛生学会, 1997, 4, 富山.
- 3) 東山正子, 森河裕子, 三浦克之, 中川秀昭, 石崎昌夫, 成瀬優知: 企業における3年間の高脂血

症管理の効果に関する検討. 第70回日本産業衛生学会, 1997, 4, 富山.

- 4) 筈島茂, 成瀬優知, 鏡森定信: 産業間の資源配分と死亡構造. 第67回日本衛生学会総会, 1997, 4, 東京.
- 5) 山口悦子, 成瀬優知, 本田万知子, 中川秀昭, 鏡森定信: 脳卒中患者の登録率と退院先—富山県脳卒中登録事業より—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 6) 金岡亨子, 吉居富美子, 本田万知子, 成瀬優知, 中川秀昭, 鏡森定信: 高齢者のライフスタイルとActive Life Loss (V) —保健行動との関連—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 7) 成瀬優知, 金岡亨子, 吉居富美子, 本田万知子, 中川秀昭, 鏡森定信: 高齢者のライフスタイルとActive Life Loss (VI) —Social Supportとの関連—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 8) 森河裕子, 中川秀昭, 田畑正司, 西条旨子, 東口和代, 石崎昌夫, 成瀬優知, 城戸照彦: 仕事および余暇の身体活動と循環器検診成績. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 9) 前田由美子, 渡辺倫子, 裏田弘美, 松岡節子, 表とし美, 横井忍, 作田順子, 本田万知子, 吉居富美子, 成瀬優知, 鏡森定信, 三浦克之, 森河裕子, 中川秀昭: 喫煙習慣と脳卒中罹患との関連—小矢部保健所管内における脳卒中予防活動(第23報)—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 10) 松田美千代, 成瀬優知: 脳卒中退院後のADL改善に及ぼす要因. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 11) 本間善之, 成瀬優知, 鏡森定信: 高齢者の日常生活喪失に関する要因について—Active Life Loss予後と日常生活自立度の関係について—. 第56回日本公衆衛生学会総会, 1997, 10, 神奈川.
- 12) E Kajita., Z Y Liu, I Matsubara and S Sokejima: Forty years retrospective study on emergency cases of visitors to Toyama prefecture area of the Japan Alps in focusing on the elderly. *Fifth International Conference on Travel Medicine*, ps296, 1997. 3. Jenova.
- 13) M Iki, E Kajita., Y Saito, Y Kusaka, S Imura and Y Ishii: Greater trunk extensor muscle torque prevents post-menopausal bone loss in the lumbar spine. *The 8th*

- World Congress of the International Rehabilitation Medicine Association, 1997, 8, Kyoto.
- 14) 梶田悦子, 伊木雅之, 西野治身, 三田村純枝, 北山富士子, 日下幸則: 6年間の腰椎骨密度追跡結果と生活習慣, 第56回日本公衆衛生学会, 1997, 10, 横浜.
 - 15) 伊木雅之, 梶田悦子, 西野治身, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 丸茂文昭, 米島秀夫: 骨量と骨代謝に関する大規模無作為標本調査-JPOS Study-, 第56回日本公衆衛生学会, 1997, 10, 横浜.
 - 16) 伊木雅之, 土肥祥子, 梶田悦子, 日下幸則, 米増國雄: 閉経女性におけるVitamin D receptor遺伝子多型とLifestyle要因の腰椎骨密度変化への影響, 第12回ビタミンDワークショップ, 1997, 2, 横浜.
 - 17) 西野治身, 田中朋子, 堀井祐子, 伊木雅之, 梶田悦子, 土肥祥子, 日下幸則, 鏡森定信: 運動習慣と骨代謝マーカーの推移に関する検討, 第67回日本衛生学会, 1997, 4, 北海道.
 - 18) 細川淳子, 梶田悦子, 吉田富士子: 機能訓練教室受講者における体力指標の追跡, 日本老年看護学会第2回学術集会, 1997, 11, 東京.
 - 19) 大上戸悦子, 中川郁子, 得能和美, 川口篤子, 市来愛子, 石川宏, 杉江玄嗣, 梶田悦子, 成瀬優知: 富山市における骨粗鬆症健診(第1報)30代女性のアンケート調査から, 第31回富山県公衆衛生学会, 1997, 2, 富山.
 - 20) 杉江玄嗣, 梶田悦子, 成瀬優知, 大上戸悦子, 中川郁子, 得能和美, 川口篤子, 市来愛子, 石川宏: 富山市における骨粗鬆症健診(第2報)骨密度と口腔内状況について, 第31回富山県公衆衛生学会, 1997, 2, 富山.
 - 21) Futamura A., Izumino K., Nakagawa Y., Takata M. and Inoue H. : Abnormal renal ⁹⁷Ga scintigraphy as a maker of the responders to steroid therapy in renal dysfunction with tubulointerstitial lesion. 30th Annual meeting of the American Society of Nephrology November 2-5 1997 San Antonio, USA.
 - 22) 安本耕太郎, 高田正信, 富田新, 上野均, 供田文宏, 泉野潔, 井上博: 高血圧性左室肥大におけるナトリウム利尿ペプチドの臨床的意義, 第40回日本腎臓学会学術総会 1997, 5.14~5.16, 新潟.
 - 23) 二村明広, 中川優子, 圓谷千佳, 上野均, 安本耕太郎, 高田正信, 井上博, 泉野潔: 尿管・間質病変を有する腎疾患におけるGaスキャンの有用性の検討, 第40回日本腎臓学会学術総会 1997, 5, 新潟.
 - 24) 中川優子, 二村明広, 圓谷千佳, 上野均, 安本耕太郎, 高田正信, 井上博, 泉野潔: 抗Thy-1腎炎におけるIL-1βの影響, 第40回日本腎臓学会学術総会 1997, 5, 新潟.
 - 25) 中川優子, 泉野潔, 二村明広, 上野均, 安本耕太郎, 高田正信, 井上博: 乾癬性関節炎に合併したIgA腎症の1例, 第27回日本腎臓学会西部学術大会 1997, 10, 名古屋.
 - 26) 二村明広, 泉野潔, 中川優子, 松下早千代, 上野均, 安本耕太郎, 高田正信, 井上博, 林省一郎: IgA腎症の再発により, 半月体形成を伴う著明な増殖性病変を呈し, 移植腎喪失を来した生体腎移植の1例, 第27回日本腎臓学会西部学術大会 1997, 10, 名古屋.
 - 27) 富田新, 上野均, 篠田晃一郎, 二村明広, 安本耕太郎, 泉野潔, 高田正信, 井上博: 尿管間質腎炎が誘因と考えられた悪性高血圧症の1例, 第27回日本腎臓学会西部学術大会 1997, 10, 名古屋.
 - 28) 伊東みどり, 神原勝美, 服部ユカリ: 看護学生の実習を受け入れて Teaching and Learning, 第8回全国老人福祉施設大会, 1997, 7, 千葉.
 - 29) 服部ユカリ, 梶田悦子, 村山正子: 在宅介護支援センターの活動と課題, 第10回日本保健福祉学会, 1997, 10, 東京.
 - 30) 北野淳子, 百谷美幸, 服部ユカリ: 訪問看護の活動評価-在宅療養者の日常生活レベルの変化を通して-, 日本老年看護学会第2回学術集会, 1997, 11, 東京.
- ◆ その他
- 1) 西野治身, 田中朋子, 堀井裕子, 熊西忠郎, 伊木雅之, 梶田悦子, 土肥祥子, 日下幸則, 鏡森定信: 閉経女性の運動習慣と骨代謝マーカーの推移に関する検討, 富山県衛生研究所年報, 20: 152-158, 1997.